

龍谷大学図書館長 殿

所属・職名：心理学部・准教授

氏名： 許 秀 美年度 大型図書 研究成果（経過）報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

購入資料名 チャムビィ復刊叢書	採択年度 2020年度
1. 研究の概要について 「チャムビィ復刊叢書」には、大韓帝国が設立した1897年から帝国が衰亡した1910年まで出版された児童向けおよび、初等、中等、高等教科書から歴史書まで幅広く含まれている。特に韓国の国権恢復に尽力した玄采の著書が多く含まれている。 玄采は、李朝時代に多くの訳官を排出した川寧玄氏家系の子孫である。川寧玄氏には、日本の訳官雨森芳洲とも親交が深かった玄徳潤も含め多くの訳官を排出しており、日朝交流において様々な場で活躍をしてきた。 本研究においては、訳官たちが江戸期に編纂・使用した朝鮮語学書を中心に扱った。	
2. 購入資料の活用状況（活用予定を含む）について記入してください。 訳官たちについての研究は、韓国や日本にとどまらず、中国やモンゴルの研究者からも注目を集めている。また、近年、旧韓末から近代にかけて出版された語学書に着目した論文も陸続と発表されている。本資料は、それらの研究者の研究活動に有意義に用いられる。 また、本学で韓国の語学、歴史、文化に興味を持っている学生にとって、日韓関係を知る基礎知識を身につけるためにも貴重な資料として活用される。	

3. 研究発表状況（予定を含む）について記入してください。

- ・【雑誌論文】（著者名、論文タイトル、雑誌名、巻号、発行年等）
- ・【図書】（著者名、タイトル、出版社、発行年等）
- ・【学会発表】（発表者名、発表タイトル、学会名、発表日等）

【雑誌論文】

許秀美、「鍵屋歴史館所蔵「講話」の朝鮮語かな表記について－子音を中心に－」、『龍谷紀要』、第41巻 第2号、123-138頁、2020.

許秀美、「朝鮮語学書の音注について－鍵屋歴史館所蔵「講話」を中心に－」、『龍谷紀要』第43巻 第2号、61-75頁、2022.

許秀美、「鍵屋歴史館所蔵『講話』の朝鮮語かな表記について－母音を中心に－」、『日本語言語文化研究』第六輯、127-140頁、2023.

許秀美、「오다이쿠고로(小田幾五郎)기기가키(聞書)에 대하여 -조선어학서 ‘표민대화’ 성립 배경에 관한 一考察」、『訳学と訳学書』、第10～12号、157-180頁、2023.

【学会発表】

許秀美(2022)「小田幾五郎著「聞書」について－朝鮮語学書「漂民対話」成立背景に関する一考察－」、第13次国際訳学書学会国際学術会議、2023年8月25日-26日

許秀美(2023)「朴方貫『朝鮮薬名解』について、第14次国際訳学書学会国際学術会議」、2023年8月25日-26日

☆公表の際には、参考文献として刊行物に明記してください。

☆資料購入後、**1年以内に研究経過報告書**を提出し、また、**3年以内に研究成果報告書**を提出してください。
加えて著書または学術雑誌等により**研究成果の公表または学会発表**をしてください。

2020年度採択締切：【研究経過報告書】2022年3月31日、【研究成果報告書】2024年3月31日

2021年度採択締切：【研究経過報告書】2023年3月31日、【研究成果報告書】2025年3月31日

2022年度採択締切：【研究経過報告書】2024年3月31日、【研究成果報告書】2026年3月31日

2023年度採択締切：【研究経過報告書】2025年3月31日、【研究成果報告書】2027年3月31日

2024年度採択締切：【研究経過報告書】2026年3月31日、【研究成果報告書】2028年3月31日